

私達の財団

第 45 号

令和 5年 1月 1日

(一財)栃木県民間社会福祉
施設職員退職手当共済財団

印 刷 松井ピ・テ・オ・印刷



国道119号線を宇都宮から日光方面に向かい、途中塩谷方面に折れ県道77号線を暫く行くと、清流鬼怒を見下ろすようにそびえる岩塊が目に入ります。これが、弘法大師空海が一夜にして描いたとも伝えられる「佐貫石仏」です。

鬼怒川沿岸にそびえ立つ高さ64mにも及ぶ岩面には、大日如来磨崖仏があり、弘法大師空海の作と伝えられています。岩の上部には奥の院大悲窟があり、中には貴重な宝物が納められ、62年に1度御開帳されます。

大正15年2月に国重要文化財に指定されました。また、岩頭北側には自然現象か人工物が不明ですが、珍しい姿をした古風な亀の子岩があります。(ご協力 福聚山 東海寺)

掛金の納付は口座引き落としによる方法をお願いします。

月額の共済掛金は、原則として金融機関の口座引き落としとさせていただいておりましたが、令和5年4月からは全面的に実施となりますのでご協力をお願いします。



私達の財団の

現状について

理事長 松野直之

新年、明けましておめでとうございます。共済加入者の皆様をはじめ関係者の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当財団は、昭和四十六年の創設で、一昨年四月一日をもって創立五十周年を迎えました。めまぐるしい環境の変化にあっても、概ね安定した法人運営ができていますのも、ひとえに、共済加入者・関係者の皆様のご支援・ご協力があればこそと改めて御礼を申し上げます。

今後とも、安定した退職手当共済事業を遂行できますよう鋭意努力して参りますので、皆様のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

皆様からお預かりしております掛金を原資とする年金資産の運用に關しましては、令和三年度末に、年金資産運用額が二百六億二千万円弱となりました。同年度末の引当資産額は、二百十億五百万円弱となり、退職金要支給額に対する積立割合（積立資産充足率）は百四十・一％となっています。

資産運用を取り巻く環境は、リーマンショック以降緩やかな回復基調を示してきましたが、令和二年二月から表面化した新型コロナウイルス

の世界的な感染拡大により、大きな転機を迎える事となり、市場も大きく影響を受けることとなりました。

各国当局の財政支援策やワクチンの普及拡大により、市場はやや落ち着きを取戻しつつあるようにも見受けられますが、未だ終息が見えない状況です。感染対策に加え昨年2月以降のロシアによるウクライナ侵攻の影響で、世界的に経済活動が波乱含みとなり、インフレの蔓延、物価高騰等、懸念材料が山積しており、環境問題への対応、世界経済の保護主義的動きも加わり、我が国経済も難しい局面が継続する状況にあります。

リーマンショックを経験し、一定の足腰の強さを取戻しつつあった各国経済ですが、コロナ禍と混沌とした社会情勢の中、各国とも難しい課題に直面していると言えるのではないのでしょうか。

こうした中、当共済財団としては、皆様からお預かりしました共済掛金を安全第一に運用し、退職共済制度が長期的に安定した制度として維持できますよう今後とも、細心の注意を払うとともに、なお一層知恵を絞って参る所存であります。

共済契約者並びに加入職員の皆様方におかれましては、当制度の健全性維持の為、なお一層のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

次に、令和三年度の事業概要をご報告いたします。

◆退職手当給付金の支給については、前年度より百二十五名増加し、一千五百八十二名の退職者（被共済職員）の方々に総額一億五千三百四十八万円余を支給しました。

◆一方、退職手当積立金（基金）は、六億五千万円を積み立てることができ、資産総額は、時価評価で総額二百六億一千九百九十六万円余となりました。

◆資産の運用状況につきましては、一部預貯金等があるものの、年金信託一〇〇％となっています。平成二十六年から預託先が二行となり、令和四年三月末の信託割合は、三菱UFJ信託銀行七十二％、三井住友信託銀行二十八％となっています。財産運用収入は一億二千九百二十万円余となっています。

◆令和三年度の年金信託の運用状況は、年度前半、各国の財政出動・ワクチン接種の拡大等による経済回復の動きにより、比較的安定して推移しましたが、後半に入り米国の金利引上げの動きやウクライナ情勢等により大きく調整することとなりました。しかし、結果としては、年間の運用実績としては、一定の収益を維持し着地することとなりました。

令和三年度の結果としては、年金信託収入と資産評価の増加額を合わせた時価による収益率（修正総合収益率）は、二・七六％（前年度九・三七％）、金額で五億四千六百五十二万円余となりました。

今後は、未だ不透明なコロナ禍後の経済動向を注視しつつ、米国を中心とする各国の金融政策、景気動向・ウクライナ情勢の行方等を注視していく展開と思われれます。

◆当財団小委員会（資産運用役員会）では、資産運用の管理体制の強化・充実を図り、安全かつ確実に総合収益を確保するために、信託銀行二行に対し適宜聞き取りを行い、当財団が定める「資産運用の基本方針」及び長期的資産構成割合（基本ポートフォリオ）に基づき修正総合収益がベンチマークに沿った状況で運用されていることを確認しました。引き続き受託者責任を十分果たすよう監理して参ります。

◆業務の広報を図るため、機関紙「私達の財団」第四十四号を発行し、被共済職員や関係者に配付を行いました。

◆また、財団の重要広報手段である、ホームページ「私たちの財団へようこそ」を、是非ご利用・ご覧下さい。令和四年十二月には、セキュリティと使いやすさを向上するため、リニューアルを行いました。

自分で退職金の計算ができる退職手当給付制度の試算例を紹介する等被共済職員の利用促進にも努めています。

◆（独）福祉医療機構の受託事業である「社会福祉施設職員等共済法」の令和三年度の事務処理実績は、一千九十四名でした。



令和3年度事業実績と決算の概要

共済契約施設及び被共済職員の状況

◆施設の種別別 契約施設数・被共済職員数◆

(単位：所・人)

施設の種別		契約施設数	職員数
保 護 施 設		2	30
児童福祉施設	保育所	200	3,413
	その他	32	606
老人福祉介護保険施設		247	6,800
その他の社会保険施設		3	22
障害福祉施設		204	3,108
計		688	13,979

◆施設数及び被共済職員数の推移◆

(単位：所・人)

区分 \ 年度	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2	R 3
施設数	654	662	674	682	688
被共済職員数	13,191	13,457	13,570	13,864	13,979

令和3年度末の共済契約(加入)施設数は、688ヶ所、被共済(加入)職員数は、13,979人となり、施設数・被共済職員数ともに増加しています。

退職手当金の支給状況

(単位：人・円)

区分 \ 年度	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2	R 3
人 員	1,580	1,617	1,572	1,457	1,582
金 額	996,773,315	1,007,394,471	1,010,980,576	1,017,460,391	1,153,487,586

資産の運用収入状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2	R 3
金 額	4,163	2,859	7,043	10,811	129,027

平成26年度一般財団法人に移行のため、非課税ファンド資産を解約し、課税ファンドに資産を移行しました。

退職手当積立金(基金)の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	H 2 9	H 3 0	R 1 (H31)	R 2	R 3
積立金	1,105,883	1,044,953	448,927	2,415,596	1,176,742
累 計	15,533,747	16,578,700	17,027,627	19,443,223	20,619,965

令和3年度決算の概要

◆ 正味財産増減計算書 ◆

(単位：円)

	科 目	退職共済事業	受託事業	小 計	法人会計	合 計
一般正味財産	基本財産運用益	12	0	12	0	12
	特定資産運用益	2,249	37	2,286	35	2,321
	事業収益	14,501,277	1,267,158	15,768,435	9,539,118	25,307,553
	経常収益計	14,503,538	1,267,195	15,770,733	9,539,153	25,309,886
	事業費	14,503,538	1,267,195	15,770,733	0	15,770,733
	管理費	0	0	0	8,271,417	8,271,417
	経常費用計	14,503,538	1,267,195	15,770,733	8,271,417	24,042,150
	当期経常増減額	0	0	0	1,267,736	1,267,736
	当期経常外増減額	0	0	0	△ 1,186,336	△ 1,186,336
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	81,400	81,400
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0
	一般正味財産期首残高	2,029,657	8,396	2,038,053	674,292	2,712,345
	一般正味財産期末残高	2,029,657	8,396	2,038,053	674,292	2,712,345
指定正味財産	基本財産運用益	12	0	12	0	12
	特定資産運用益	277	0	277	0	277
	一般正味財産への振替額	289	0	289	0	289
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	3,399,000	0	3,399,000	0	3,399,000
	指定正味財産期末残高	3,399,000	0	3,399,000	0	3,399,000
	正味財産期末残高	5,428,657	8,396	5,437,053	674,292	6,111,345

◆ 貸 借 対 照 表 ◆

令和 4 年3月31日現在

(単位：円)

借 方(資 産)		貸 方(負 債・正味財産)	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	2,626,050	流 動 負 債	1,662,814
現金預金	2,626,050	未払金	348,632
固 定 資 産	21,021,478,907	未払い法人税等	81,400
基 本 財 産	134,000	預り金等	192,400
現金預金	134,000	賞与引当金	1,040,382
特 定 資 産	21,019,595,798	固 定 負 債	21,016,330,798
共済事業引当資産	21,004,764,998	共済事業預り金	21,001,499,998
職員退職給付引当資産	14,830,800	職員退職給付引当金	14,830,800
その他の固定資産	1,749,109	正 味 財 産	6,111,345
ソフトウェア	838,567	指定正味財産	3,399,000
電話加入権	81,517	寄附金	3,399,000
什器備品等	389,945	一般正味財産	2,712,345
長期前払費用	439,080		
合 計	21,024,104,957	合 計	21,024,104,957

令和4年度事業計画及び予算の概要

令和 4 年度 事業計画

民間社会福祉施設等に勤務する職員の処遇向上を図るため、退職手当共済事業の一層の充実推進に努めます。

一退職一時金の給付及び資産運用について
退職手当共済制度が長期的に安定した制度として維持できるよう、調査・研究や創意工夫を行い、円滑な事業推進を図っていきます。資産運用については、引き続き、ポートフォリオ（平成二十六年改定）の検証を進めながら、リスクの低い資産運用、三菱UFJ信託銀行と三井住友信託銀行二行の特徴を活かした資産運用を進め、安全かつ確実な総合収益を確保し、さらなる財政の健全化に努めて参ります。

二事務の適正かつ円滑な実施と利便性の向上について
共済加入職員数が一四、〇〇〇名を超え業務量が増加する中、事務処理の「迅速且つ正確」を基本姿勢に、適正で円滑な事務処理を推進し、共済契約者のさらなる利便性の向上に努めます。

【主な事業】

①役員会等の開催
定例理事会、定時評議員会、定例監事会等を適時開催します。

②退職共済事業及び受託事業

共済契約施設及び被共済職員に対する共済掛金の収入事務、退職手当金の支給事務及び独立行政法人福祉医療機構の受託事務（退職届等のみ）を効率的・迅速に実施します。

③退職手当共済制度の事務指導等

退職手当共済制度の適正な事務処理、資産運用状況説明、共済契約施設に対する事務指導を引き続き行います。

④会議・研修会等への事務局職員の参加

関東ブロック共済制度連絡協議会や運用委託金融機関主催の研修への参加により、共済事務の品質向上に向けた情報交換を積極的に行います。

令和 4 年度 収支予算書

(単位：円)

	科 目	退職共済事業	受託事業	法人会計	合 計	前年度予算額
一般正味財産	基本財産運用益	1,000			1,000	1,000
	特定資産運用益	2,000			2,000	3,000
	事業収益	20,236,000	1,356,000	9,279,000	30,871,000	27,434,000
	雑収益					600,000
	経常収益計	20,239,000	1,356,000	9,279,000	30,874,000	28,038,000
	事業費	20,239,000	1,356,000		21,595,000	17,182,000
	管理費			9,179,000	9,179,000	8,776,000
	経常費用計	20,239,000	1,356,000	9,179,000	30,774,000	25,958,000
	当期経常増減額	0	0	100,000	100,000	2,080,000
	経常外費用計	0	0	0	0	1,980,000
	税引前当期一般正味財産増減額	0	0	100,000	100,000	100,000
	法人税、住民税及び事業税	0	0	100,000	100,000	100,000
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0
	一般正味財産期首残高	2,029,000	9,000	674,000	2,712,000	2,712,000
	一般正味財産期末残高	2,029,000	9,000	674,000	2,712,000	2,712,000
指定正味財産	基本財産運用益	1,000			1,000	1,000
	特定資産運用益	2,000			2,000	3,000
	一般正味財産への振替額	3,000			3,000	4,000
	当期指定正味財産増減額	0			0	0
	指定正味財産期首残高	3,399,000			3,399,000	3,399,000
	指定正味財産期末残高	3,399,000			3,399,000	3,399,000
	正味財産期末残高	5,428,000	9,000	674,000	6,111,000	6,111,000

役 員 名 簿

理 事 会

(令和五年一月一日現在)

職 名	氏 名	備 考
理 事 長	松 野 直 之	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)せせらぎ会 かえて施設長
副理事長	湯 澤 洋 子	栃木県保育協議会代表 (社福)田原福祉会 ゆりかごこつずなーさりーすくーる 園長
常務理事	野 澤 秀 夫	一般財団法人栃木県民間社会福祉施設職員 退職手当共済財団 事務局長
理 事	関 上 佳 代 子	栃木県児童養護施設等連絡協議会代表 (社福)あかつき寮 施設長
同	古 口 光 夫	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)光誠会 ケアハウスフローラ 施設長
同	横 川 恵	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)信徳会 特別養護老人ホーム栗野荘 施設長
同	山 中 徹 弥	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)下野会 国分寺学園 施設長
監 事	峯 山 敏 正	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)すぎなみき会すぎなみき学園 施設長
同	鈴 木 敏 夫	共済財団事務局長経験者

◇ 役員の任期 ◇

理事・監事の任期は二年で、令和五年の定時評議員会（六月開催予定）までとなっています。

また、評議員につきましては、令和四年、任期満了に伴う改選があり、新たに遠藤勝己評議員と伍井悦子評議員が選任されました。任期は四年で、令和八年の定時評議員会までとなっています。

評 議 員 会

職 名	氏 名	備 考
評 議 員	篠 崎 和 男	栃木県社会福祉協議会 常務理事
同	篠 原 真 奈 美	栃木県保育協議会代表 (社福)まこと福祉会 茂呂保育園 園長
同	大 川 眞	栃木県保育協議会代表 (社福)小俣幼児生活園 園長
同	江 田 仁	栃木県児童養護施設等連絡協議会代表 (社福)桔梗寮 桔梗寮書記
同	浅 香 典 靖	栃木県障害施設・事業協会代表 (社福)渡良瀬会 栃の葉荘 施設長
同	遠 藤 勝 己	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)佐野福祉会特養ホーム 佐野サンリバー 施設長
同	伍 井 悦 子	栃木県老人福祉施設協議会代表 (社福)むつみ福祉会 ケアハウス白寿の里 施設長

感染対策を徹底していきましょう

◆感染対策7つの基本◆

- ① 身体的距離の確保（間隔をとり、会話は真正面を避けよう。）
- ② マスクの着用・咳エチケット（会話をする時はいつでも、どこでも、無症状でも、マスクを着ける。咳エチケットは厳守。）
- ③ 手洗い（こまめに、30秒かけて、水と石鹸でしっかり洗う。家に帰ったら、まずは手や顔を洗いまししょう。）
- ④ 換気と加湿（こまめに、窓を開けて風の流れを作りましよう。）
- ⑤ 3密の回避（密集・密接・密閉を避けよう。）
- ⑥ 適切な運動や食事（免疫力向上のため、十分な休養とバランスの取れた食事、適度な運動を心掛けよう。水分摂取も忘れずに。）
- ⑦ 健康チェック（毎朝、体温測定をして、風邪の症状があるときは無理せず、自宅で療養しましょう。）

《栃木県「冬の感染防止対策」より》

新規共済契約(加入)施設紹介

(令和4年1月～令和4年12月)

施設名	経営主体及び代表者名	加入職員数	所在地
保育所 かぬま木工団地保育園	社会福祉法人 青い鳥福祉会 青 柳 修	人 11	鹿沼市茂呂
指定障害福祉サービス事業 あじさい	社会福祉法人 洗心会 大 木 元	11	小山市出井
保育所 こがねい保育園	社会福祉法人 内木会 内 木 秀 雄	2	下野市小金井
保育所 なすのそら保育園	社会福祉法人 千駒会 吉 田 久 夫	16	那須郡那須町

共済財団ホームページ『私たちの財団へようこそ』のご利用案内

～共済財団ホームページ『私たちの財団へようこそ』をリニューアルしました～

令和4年12月より、共済財団のホームページをリニューアルし、セキュリティの向上と使いやすさの改善を行いました。一部の契約者様や加入者の皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。今後は、皆様との情報共有のツールとしてこのホームページを活用して参りたいと思いますので、よろしくお願いします。スマートフォンでも見やすくなりましたので、新着情報や『Q&A』等、折に触れましてご覧いただければありがたいです。

共済財団ホームページには、契約者や各施設及び被共済職員の皆様方に、共済財団の運営状況や退職手当共済事務に必要な情報が掲載されています。

【退職手当共済財団のしおり】について

「加入に関するQ&A」「掛金の納付と退職手当金支給の仕組み図」「退職手当金の計算方式」等、退職共済制度について簡単にわかるリーフレットが「加入施設等サービス」よりダウンロードできます。是非ご利用下さい。

退職共済財団とは

栃木県民社会福祉施設職員退職手当共済財団は、県内の民間社会福祉施設(保育園・児童施設・高齢者施設・障がい者施設など)で働く職員の生活向上と社会福祉事業の振興を目的とした共済団体で、主に退職給付事業を行っています。

加入額 年6700円 13,600円
(2020年3月現在)

加入対象者

栃木県内の民間社会福祉施設等で働く有給従事者を対象としています。

掛金の納付と退職手当金支給の仕組み図

加入に関するQ&A

Q パート職員ですが退職共済に加入できますか?
A 労働時間が正規職員の2/3以上の方は加入できます。

Q 加入するのに年齢制限はありますか?
A 加入時点で満65歳以上の方は加入できません。

Q 雇用日が月の途中ですが、その月から加入できますか?
A その月から加入できます。ただし、掛金は月単位で管理しますので日割りでなく1ヶ月分発生します。事業主と相談のうえ、加入してください。

退職手当の計算方式

退職手当金 = 加入期間に応じた支給率 × 退職年度の掛金基準給与

退職手当金シミュレーション

試算条件 本籍180,000円で加入し、1年ごとに5,000円ずつ昇給していくことを想定します。

加入期間	本 籍	職員掛金合計	退職手当
1年	180,000円	56,160円	56,160円
10年	225,000円	633,360円	1,009,090円
20年	275,000円	1,422,720円	3,251,280円
30年	325,000円	2,368,080円	6,813,400円

退職手当共済制度について

- 加入期間が長期になるに従い退職手当給付額は増えます。
- 加入期間が1年以上で、職員(加入者)が納付した掛金累計額より退職手当の方が多くなります。(加入期間が6か月未満では、職員(加入者)が納付した掛金累計額を返戻します。)
- 退職手当金の課税については、退職所得控除により税負担が軽減されます。

退職手当金支給率表

加入期間	本 籍	職員掛金合計	退職手当	支給率
1年	0.285	16	5,645	31
2	0.790	17	5,465	32
3	1.140	18	10,165	33
4	1.530	19	10,925	34
5	1.955	20	11,780	35
6	2.470	21	12,635	36
7	2.950	22	13,490	37
8	3.325	23	14,345	38
9	3.800	24	15,200	39
10	4.445	25	16,150	40
11	5.130	26	17,100	41
12	5.795	27	18,050	42
13	6.460	28	19,000	43
14	7.125	29	19,950	44
15	7.885	30	20,900	45

※加入期間1年以上で36か月未満の1歳で、60月以上切り上げになります。
◎ 3年5ヶ月～3年 3年6ヶ月～4年



私たちの財団

検 索

新規共済契約加入施設紹介コーナー

社会福祉法人 内木会

こがねい保育園

～ のびのびした環境の中

豊かな感性、幅広い経験

思いやりの心を育てる ～



こがねい保育園は令和4年4月に民営化を受け、公立園から社会福祉法人内木会運営になりました。特徴は何ととっても広い園庭です。周りを畑に囲まれたのどかな環境でたくさん体を動かし、のびのびと過ごせる保育園です。公立園の良いところを残しつつ、今年度からはネイティブの英語講師による月2回の英語活動、週1回の体操教室、系列園の畑での農園体験もはじまり、子どもたちは目を輝かせて取り組んでいます。

〈施設の概要〉

- ・所在地 下野市小金井1249-1
- ・利用定員 90名
- ・電話番号 0285-44-3377
- ・FAX番号 0285-44-4410



社会福祉法人 千駒会

なすのそら保育園

～ 「こころを育てる」

うつくしいところ・やさしいところ ～

那須町の旧高久保育園と大同保育園が統合し、令和4年4月1日に民間として新規開園いたしました。“遊びの中からルール・善悪・命の尊さや思いやりを学ぶ”を保育目標としています。

年長になると専門の指導者によるサッカー教室・リトミック教室や、戸外活動を積極的に取り入れ様々な体験を通し、心身の健康づくりに心がけています。又、裏千家茶道教授によるお茶のお稽古を通して、お茶を味わい日本の伝統に触れながら作法を学び、相手を思いやる心を育てます。

隣接している高久小学校からの協力を得て、小学生や地域の方々と交流を深めることで人との関わりや優しさを育てています。



- 〈施設の概要〉
- ・所在地 那須町大字高久甲3358-10
 - ・利用定員 110名
 - ・電話番号 0287-74-3710
 - ・FAX番号 0287-74-3711